

様式第3号(第12条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第3回吉川市歯科口腔保健推進協議会
開催日時	令和5年11月24日(金) 午後1時30分から午後2時35分まで
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	伊達敬規委員、戸張英男委員、鈴木薫委員、岩本洋子委員、 程田浩司委員、石田和親委員
欠席委員(者)氏名	山口剛介委員、小林和雄委員
担当課職員職氏名	健康増進課 課長 互英久 健康増進課 課長補佐兼健康づくり支援係長 鈴木忍
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 議事 (1) 計画(素案)について 3 その他 4 閉会 【公開】
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	1. 令和5年度第3回吉川市歯科口腔保健推進協議会次第 2. 第2次吉川市歯科口腔保健推進計画(素案)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	石田和親委員、鈴木薫委員

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
会長	<p>○議事</p> <p>はじめに、本日の会議録署名委員を石田委員と鈴木委員にお願いします。また、本会議は傍聴要領に基づき公開とし、傍聴を認める者の人数を5名とすることを報告する。</p> <p>それでは、議事に入る。議事(1)計画(素案)について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>議事(1)計画(素案)について</p> <p>※「第2次吉川市歯科口腔保健推進計画(素案)」のとおり説明。</p> <p>前回の会議を踏まえて必要な部分を修正し、素案を作成した。修正部分の1点目は5～6ページの3歳児と12歳児の歯の状況である。令和4年度実績まで載せる予定だったが、現時点では令和4年度実績が公表されていないため、令和3年度までに変更した。そのため、8ページの「目標①」、「目標②」についても令和3年度実績に修正した。</p> <p>2点目は10～14ページの「みんなでできること」について、前回の会議の意見に加え、事務局案を追加した。</p> <p>3点目は15～16ページの「目標の設定」について、前回の会議を踏まえ3歳児と12歳児の一人平均むし歯数を目標に加えた点である。</p>
会長	<p>第1次計画については数値的に良くなっているが、第2次計画はそれを上回っていかねばいけない。</p>
委員	<p>1歳8か月健診と3歳4か月健診の歯みがき指導について、コロナ禍前は個別に指導できたが、現在は口を開けずに指導している。もう少しコロナが落ち着いたら、口を開けて歯みがき指導ができるようになると良い。今は模型でやっており、人数も少ない。</p>
事務局	<p>時期をみて、元に戻していきたい。</p>
副会長	<p>現在はパパママ学級の歯科の時間は30分程度だが、以前のように1時間くらいにできないか。</p>
事務局	<p>時間の拡大は現時点では難しい。</p>
会長	<p>無料妊婦健診の受診者も少ない。受診の際に色々な話をしており、赤ちゃんの歯に関する正しい知識を持ってもらうことが、むし歯の予防につながっていく。</p>
委員	<p>母子手帳発行の際に案内を渡したりしたらどうか。</p>
委員	<p>忙しかったり、都合があって受診できない状況もあると思われる。これまでと変わらないかも知れないが、粘り強く広報や啓発をしていくしかないのではないか。</p>
事務局	<p>様々な情報を伝えなければならないが、情報が多すぎて伝わらないこ</p>

会長	<p>ともあるかと思う。メリハリをつけた情報提供をしていきたい。</p> <p>医療費助成を18歳までに延長することにより、かかりつけ医をもって歯科に通院しやすくなるのではないか。吉川の現状をみると悪くはないが、時々、全く管理しておらず、むし歯の保有率が高い子がいると感じている。</p>
副会長	<p>学校保健委員会が以前は年3回あり、歯科に関することがなくても参加でき、歯科の話をするのができた。少しでも学校歯科医から歯科の話をしていただけると良い。</p>
事務局 会長	<p>学校教育課には意見があったことを伝えておく。</p> <p>学校健診の結果を持って受診する子も多いが、紛失し、健診が終わってからかなり時間がたってから受診する子もいる。かかりつけ歯科医をもって定期的に歯科検診を受診するという点を強化したい。</p>
委員	<p>国保担当として直接啓発できることは限られているが、保険証発送時等の機会に啓発する等、何ができるかを検討していきたい。</p>
副会長	<p>にこにこ歯みがき教室で「歯が生える前は何をしたら良いか」との質問があり、歯が生える前は口の中や歯茎をさわって歯みがきをする準備をすると良いと話したことがある。「みんなのできること」に歯が生える前から歯みがきの準備をしましょう、と入れてはどうか。</p>
会長	<p>歯が生える前からやれば効果がある。にこにこ歯みがき教室やパパママ学級を活用して、もっと色々な情報を伝えていくと良い。</p>
会長	<p>40歳代にかけてある程度予防できると良い。進行したら元に戻らないので、この年代からむし歯の予防に加え、歯周病予防も加えていかなければいけない。</p>
副会長	<p>「みんなのできること」に歯周病予防のことを入れた方が良い。歯周病予防のため、自分にあった正しい歯みがきの方法を学びます、ではどうか。</p>
会長	<p>歯のみがき方は、みんな一緒ではない。個人にあった歯みがきの仕方を学ぶには、歯医者に行かないと分からない。</p>
事務局	<p>歯周病予防のため、正しい歯みがきの方法を学びます、ということで良いか。</p>
委員	<p>自分にあった正しい歯みがきの方法を学びます、というのはどうか。自分も担当する患者さんには、皆さんに違う説明をしている。</p>
副会長	<p>一般的に歯みがきは歯ブラシだけで終わりかと思うが、歯と歯の間を掃除するよう、糸ようじや歯間ブラシ等の補助清掃用具を使うようになると良い。</p>
委員	<p>歯ブラシだけでは汚れの58%しか落ちず、42%は残ると言われており、デンタルフロスや歯間ブラシを使うとより良いと思う。</p>
会長	<p>補助清掃用具としては、舌のブラシもある。</p>
副会長	<p>舌みがきは高齢期からではなく、成人期からやると良い。成人期の「み</p>

